

北栄町 子育てに関する実態・意向調査 (次世代育成支援に関するニーズ調査)

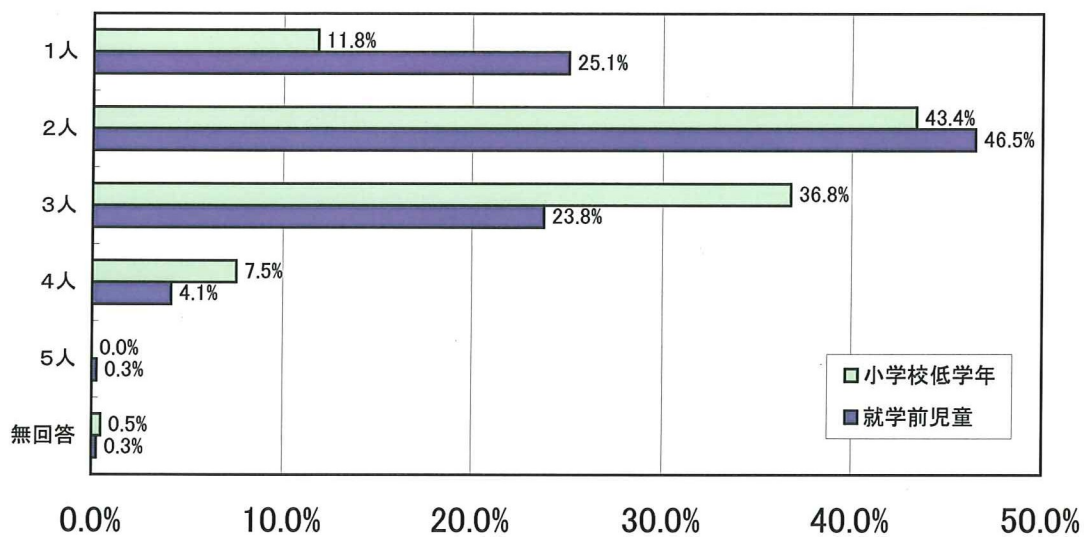
結果報告書(抜粋)

【調査概要】

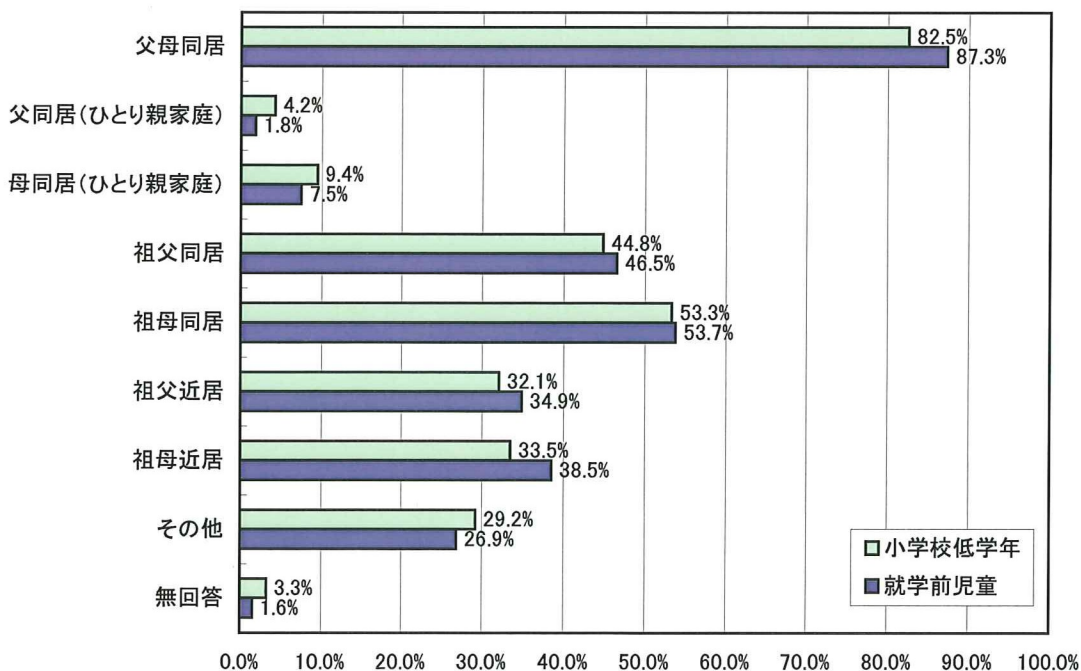
- 調査対象
就学前児童調査:平成21年度の保育所・幼稚園に入所(園)している児童、子育て支援センター利用児童の保護者530人

小学校児童調査:平成21年度の北条・大栄小学校それぞれの1年生及び3年生児童の保護者262人
- 実施時期:平成21年10月30日～11月20日
- 有効回答数
就学前児童調査:387人(有効回答率73.0%)
小学校児童調査:212人(有効回答率80.9%)
- 調査方法
就学前児童調査:保育所、幼稚園、子育て支援センターを通じて配布
小学校児童調査:各小学校を通じて配布

該当のお子さんを含め、お子さんは何人いますか。

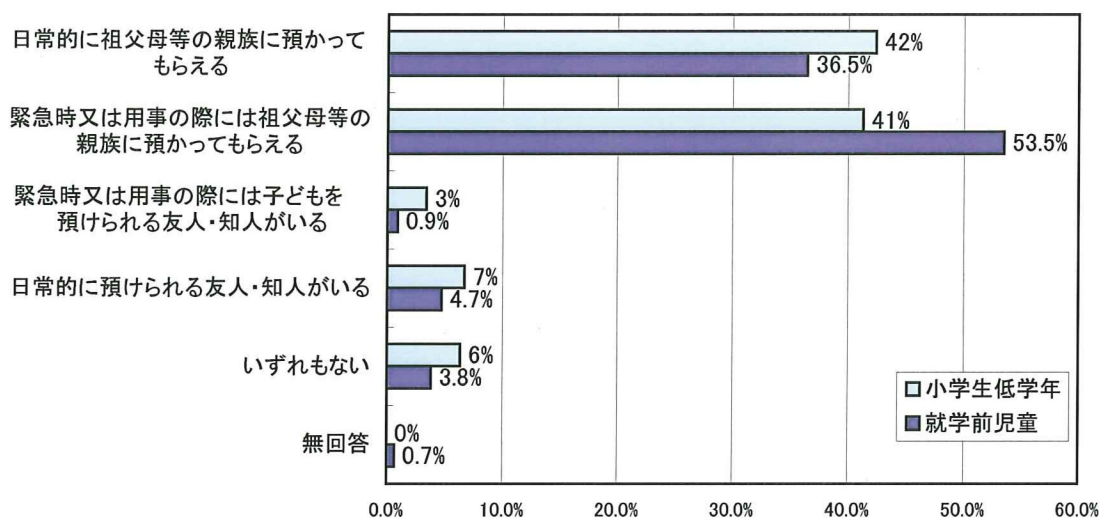


お子さんと同居している方・近居（概ね30分以内程度で行き来できる範囲）の方は？（複数回答）



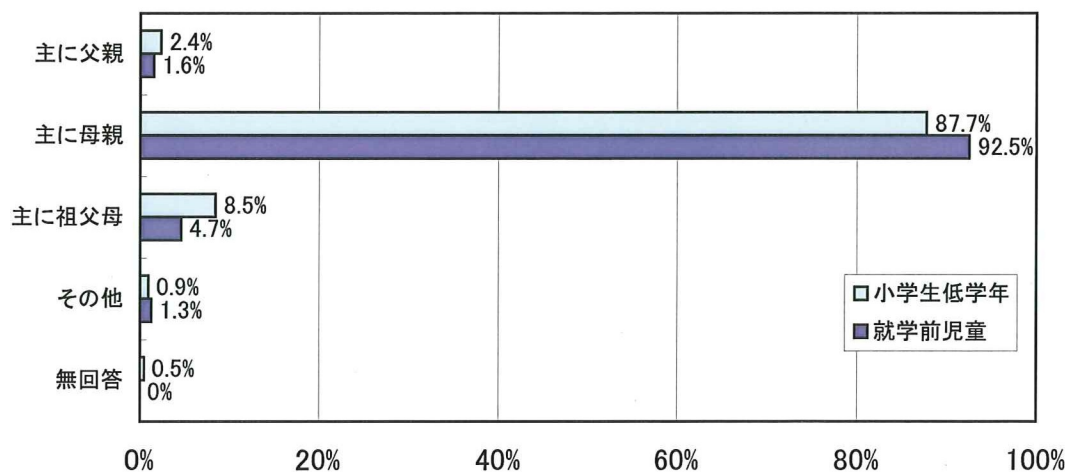
父母同居(約85%)に比べると、祖父母と同居している割合は約50%弱で、核家族の増加が考えられる。(資料6 P2参照)

日ごろ、お子さんを預かってもらえる人はいますか。（保育所や幼稚園に行っている時間帯を除く）（複数回答）



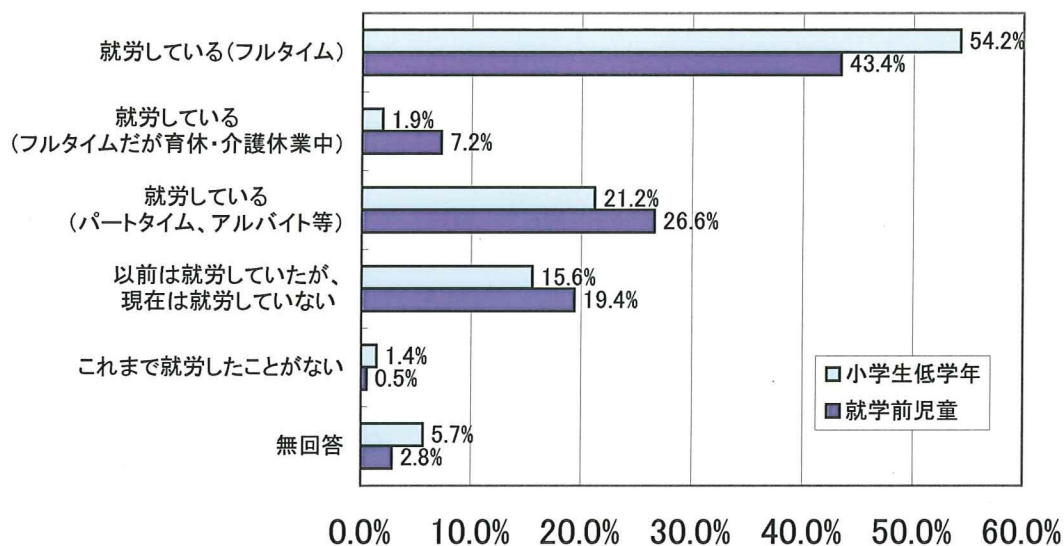
日常、緊急を合わせると、約9割が何らかの形で預かってもらえる方がいる。

お子さんの身の回りの世話などを主にしている方は？



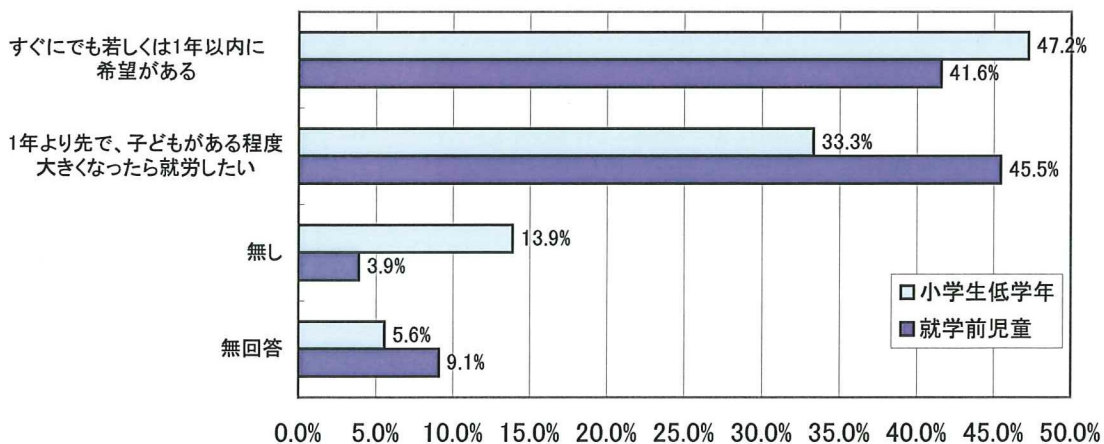
主たる育児者は、母親が9割近くを占め、主流となっている。

現在の母親の就労状況（自営業、家族従事者含む）は？

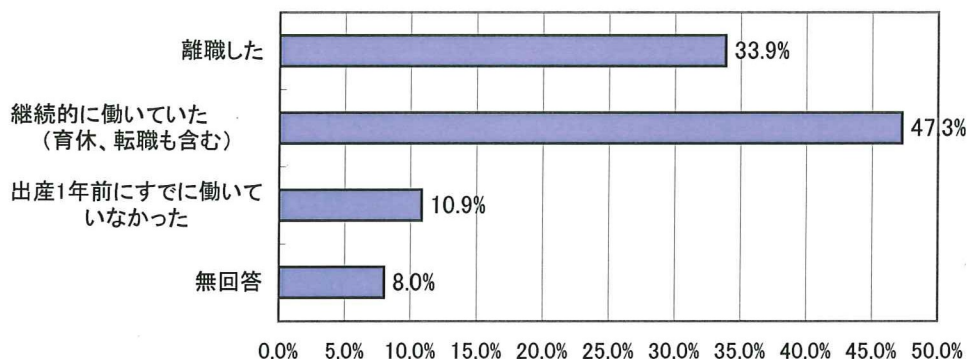


形態を問わず就労している割合は、約8割(77%)と高い就業率を示している。

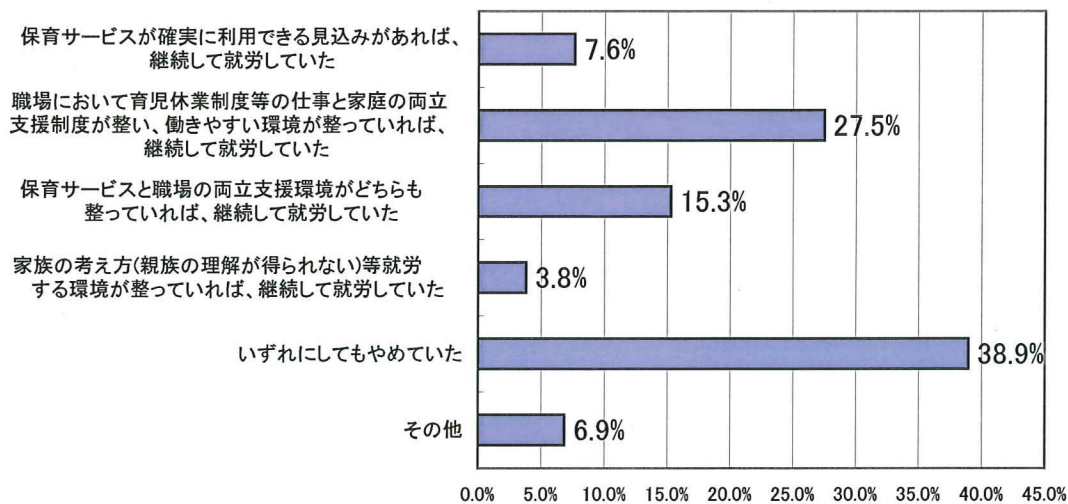
前問で「以前は就労していたが、現在就労していない」又は「これまでに就労したことがない」と答えた方で、就労希望はありますか。



お子さんの出産前後（前後それぞれ1年以内）に離職をしましたか。（就学前児童の母親のみ回答）

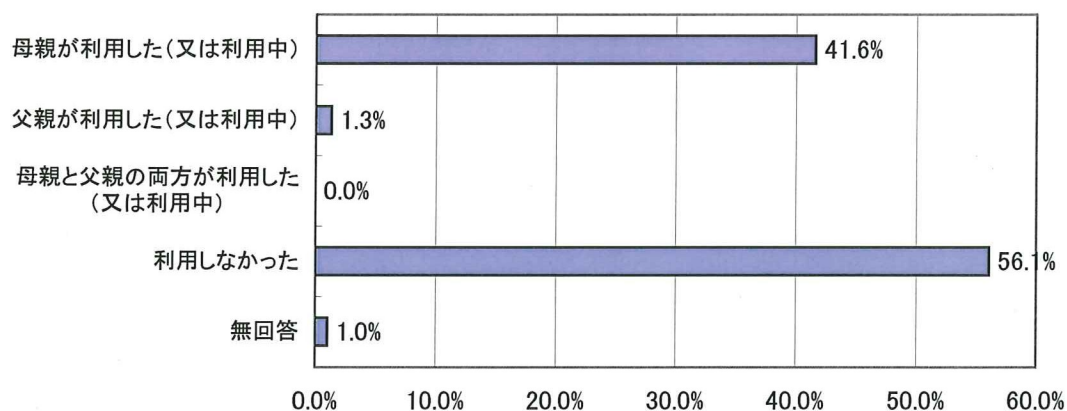


出産前後仕事をやめた方で仕事と家庭の両立を支援する保育サービスや環境が整っていたら、就労を継続しましたか。



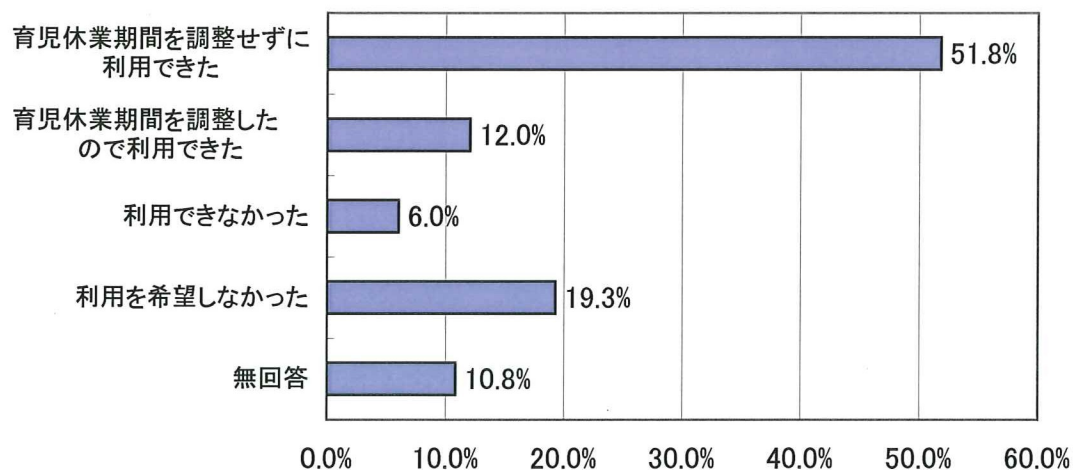
「職場において育児休業制度等の仕事と家庭の両立支援制度が整い、働きやすい環境が整っていれば、継続して就労していた」が27.5%となっており、ワーク・ライフ・バランスの取り組みが求められている。

母親又は父親が育児休業制度を利用したことがありますか。



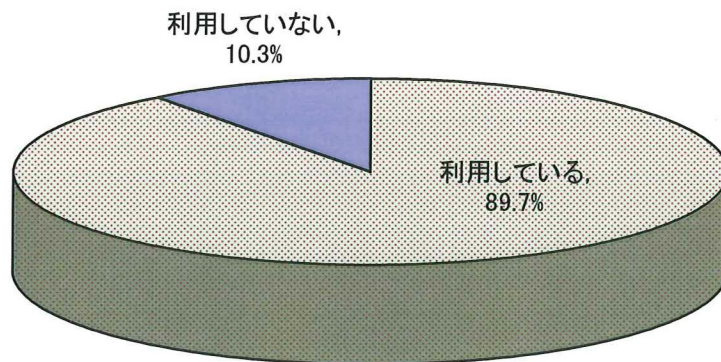
約4割が育児休業を利用し、そのほとんどが母親という結果になっている。

育児休業を利用した方で、育児休業明けに、希望する保育サービスをすぐ利用できましたか。

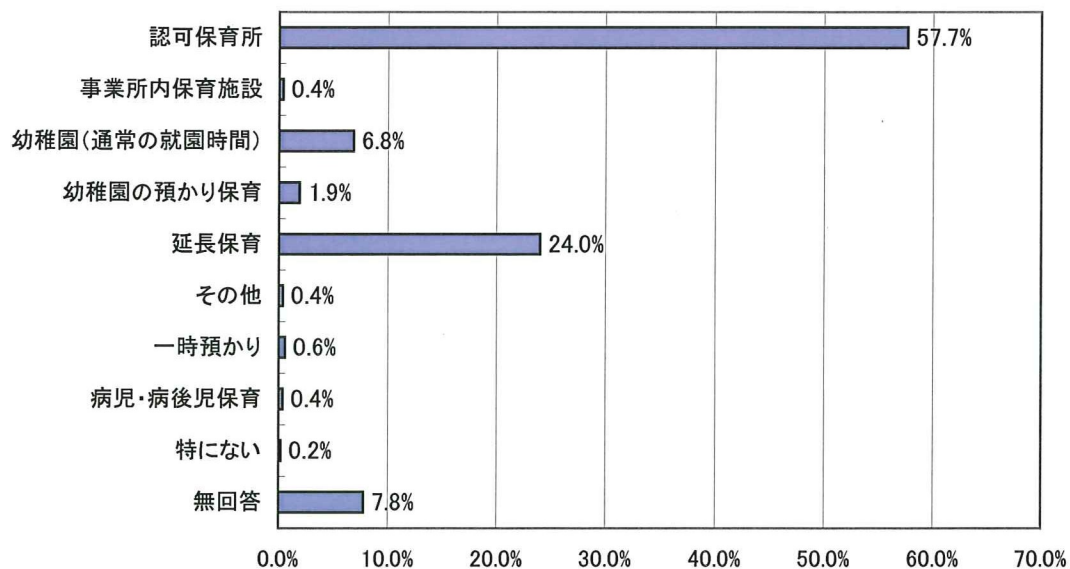


保育所への入所等で概ね保育サービスを利用できている。
待機児童はこれまでなし。

現在、定期的な保育サービスを利用していますか。（就学前児童の保護者のみ）

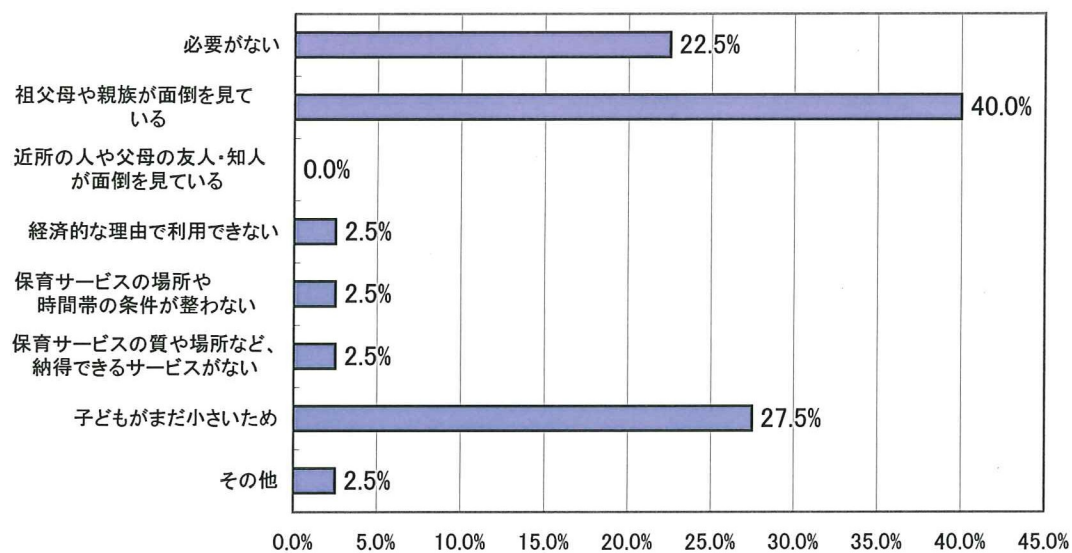


どのような定期的保育サービスを利用していますか。（複数回答）

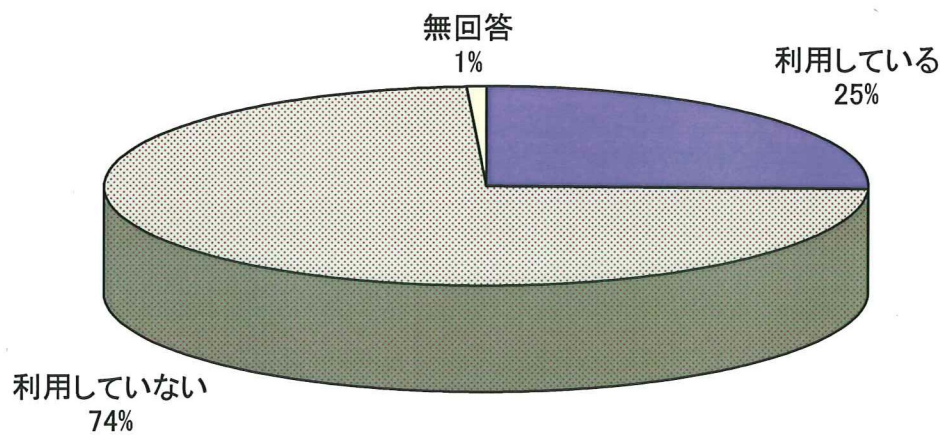


保育所の利用の高さに比べると、一時預かりや病児・病後児保育の利用度は低い。これは、一時預かりの利用対象が保育所等に入所していない未就学児童であること、児童の病時に家族等が世話をしている（P10参照）ことが関係している。

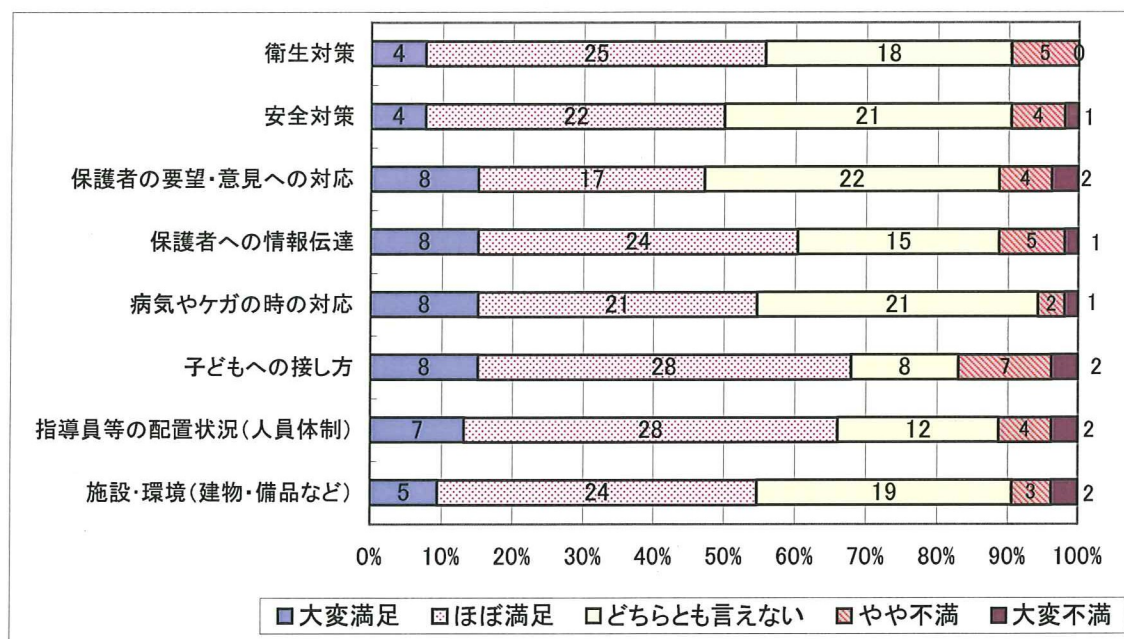
定期的な保育サービスを利用していない理由は何ですか。



現在、放課後児童クラブを利用していますか。

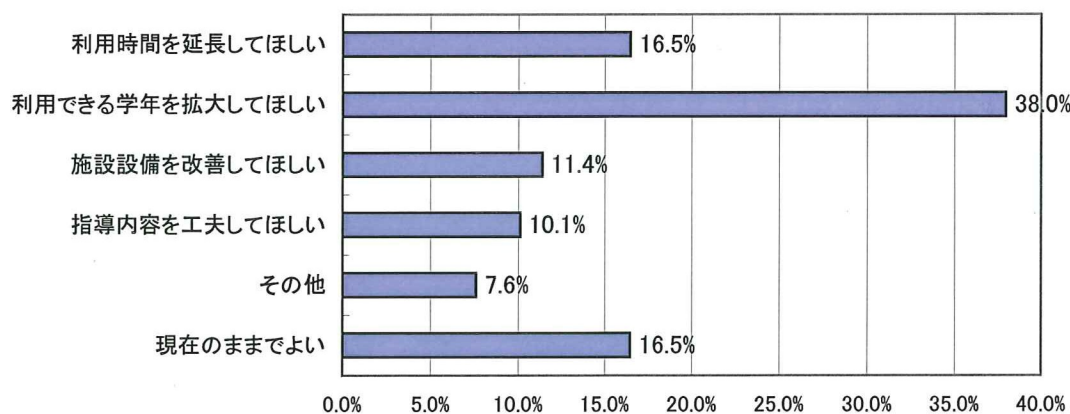


現在通っている放課後児童クラブに関して、どのように感じていますか。



利用者からは、概ね肯定的な評価をいただいている。

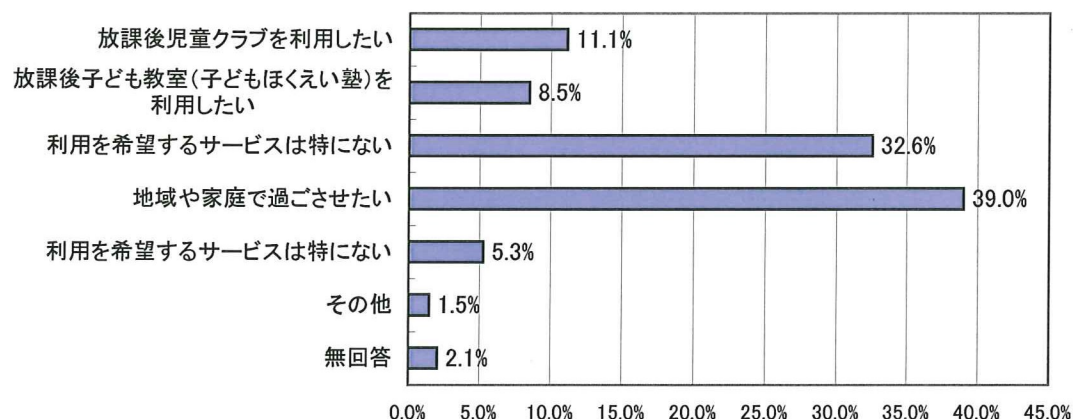
現在通っている放課後児童クラブに対してどのような要望をお持ちですか。
(複数回答) (利用している方の回答)



「利用できる学年の拡大」については、地域での他の受け皿(スポ少や今後開設予定のファミリーサポートセンターなど)について広報し、地域での他の受け皿があることを周知していく。

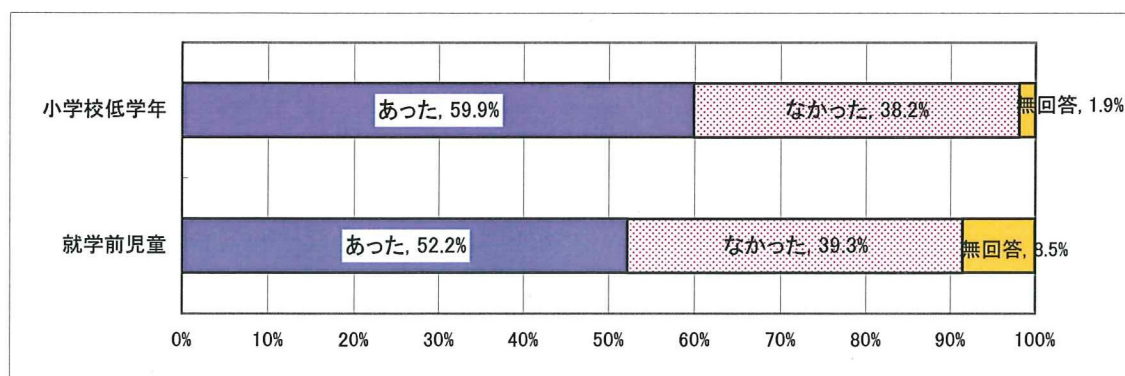
「利用時間の延長」については、今後検討していく。

お子さんの小学4年生以降の放課後の過ごし方について、どのようなことを望みますか。（複数回答）

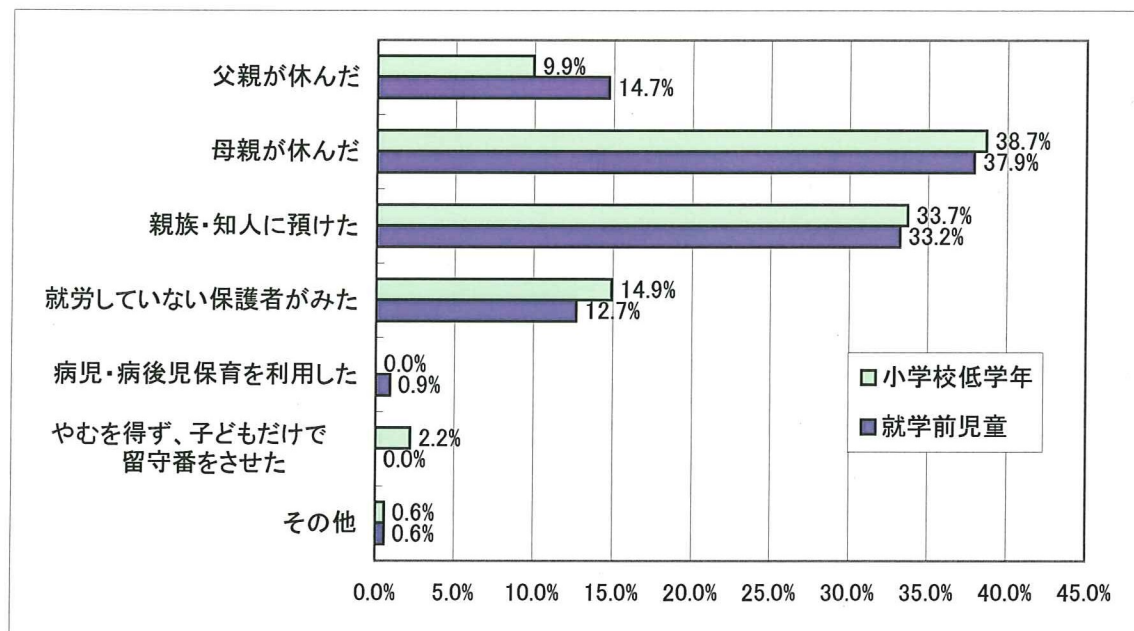


「地域や家庭で過ごさせたい」が約4割あり、高学年の児童については、地域・家庭での受け皿が重要となる。

この1年間に、お子さんが病気やケガで保育サービスが利用できなかったこと、学校を休まなければならないことがありましたか。

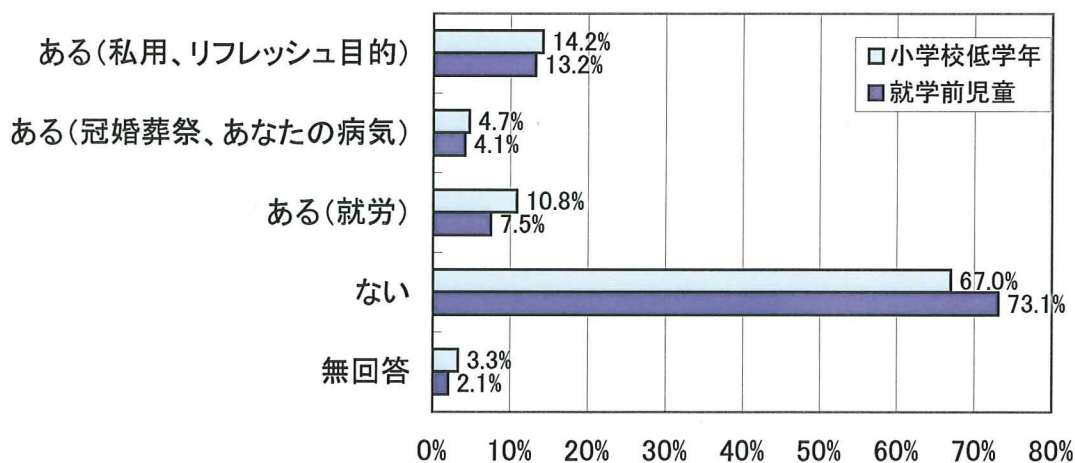


前問で「あった」と答えた方で、この1年間の対処方法は？（複数回答）



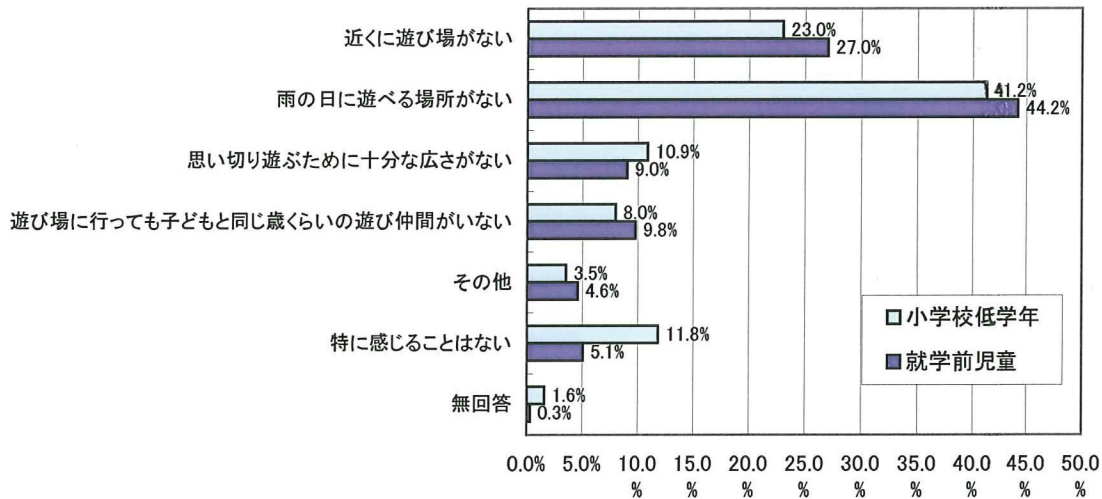
家族等で対処されているケースが大部分を占めている。

この1年間で、私用やリフレッシュ目的、冠婚葬祭やあなたの病気、あるいは就労のため、お子さんを家族以外の誰かに一時的に預けたことはありましたか。



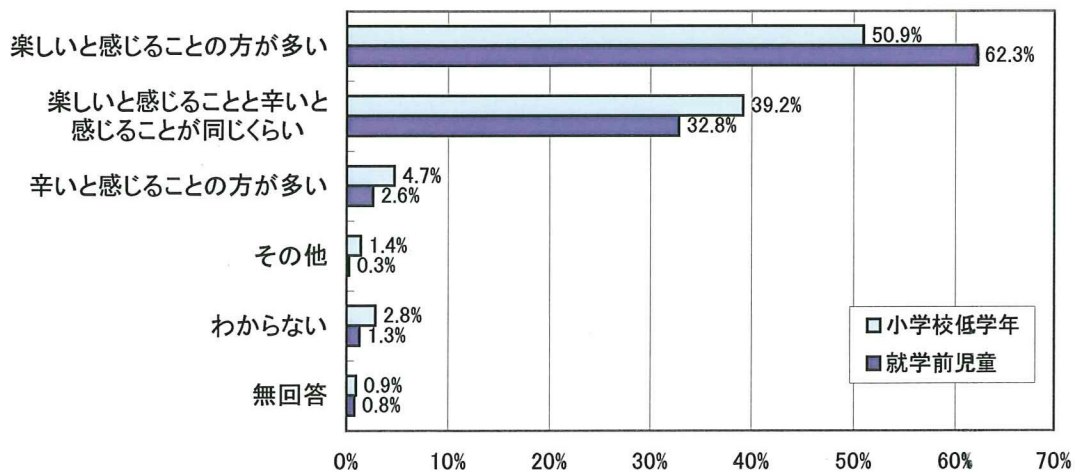
「ない」が約7割と高い割合を示している。子育てにもリフレッシュすることが大切なので、今後開設予定のファミリーサポートセンターなど支援サービスの情報提供をしていく。

家の近くの子どもの遊び場について、日頃感じていることはありますか。
(2つまで)



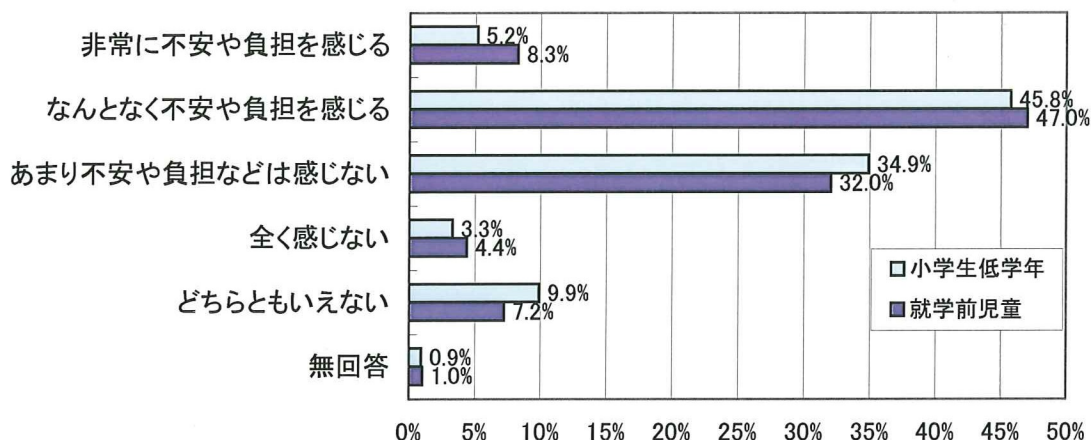
各自治会の広場等が、遊び場として認識されていない。
雨の日に限らず、体育館等の施設の開放日の設定などを検討し、公共施設の利用を促していく。

自分にとって子育てを楽しんでいると感じることが多いですか。



子どもが成長するにつれ、辛いと感じることが増えている。
保幼小中連携で、子どもと保護者の支援の検討を進めていく。

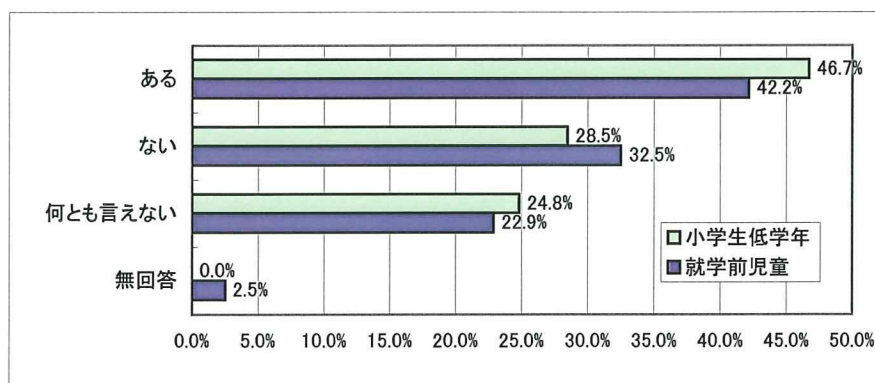
子育てに関して不安や負担などを感じていますか。



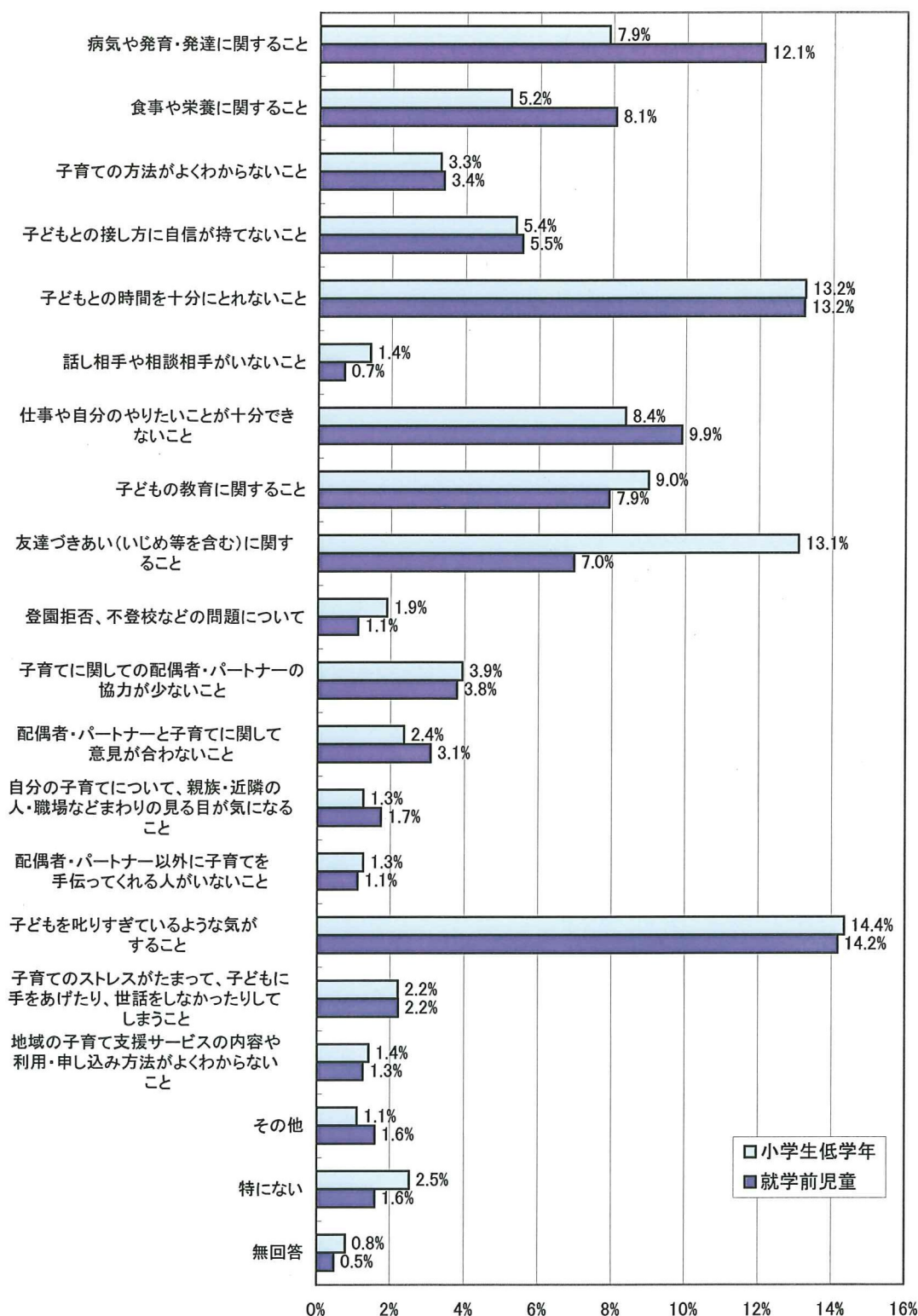
16年度調査時の回答項目よりも増やして行った結果、不安や負担を感じる割合は増加している。前回調査の「何とも言えない」部分が、今回調査でどちらかに分かれたことが考えられるが、いずれにしても不安や負担はあることが明らかとなっている。

参考データ
平成16年実施時の結果

子育てに関して困難(不安や負担など)を感じることはありますか。



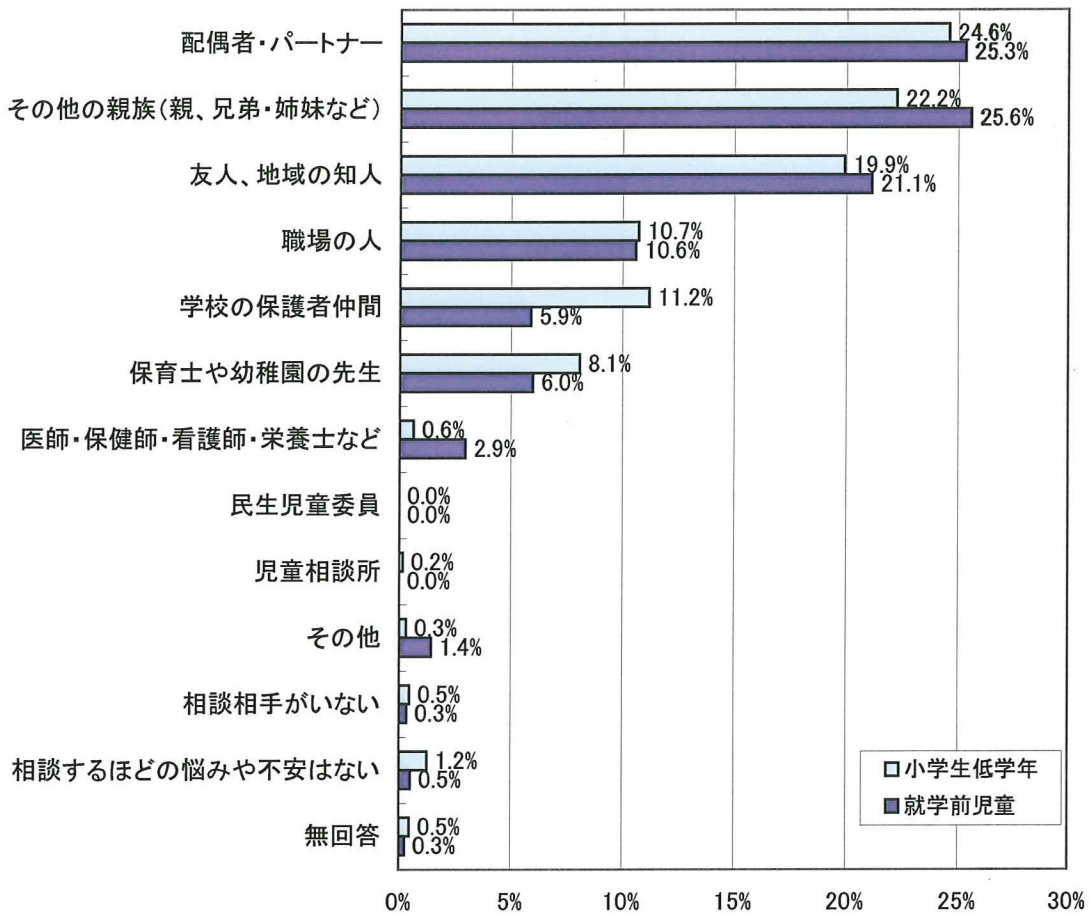
子育てに関して日常悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。（複数回答）



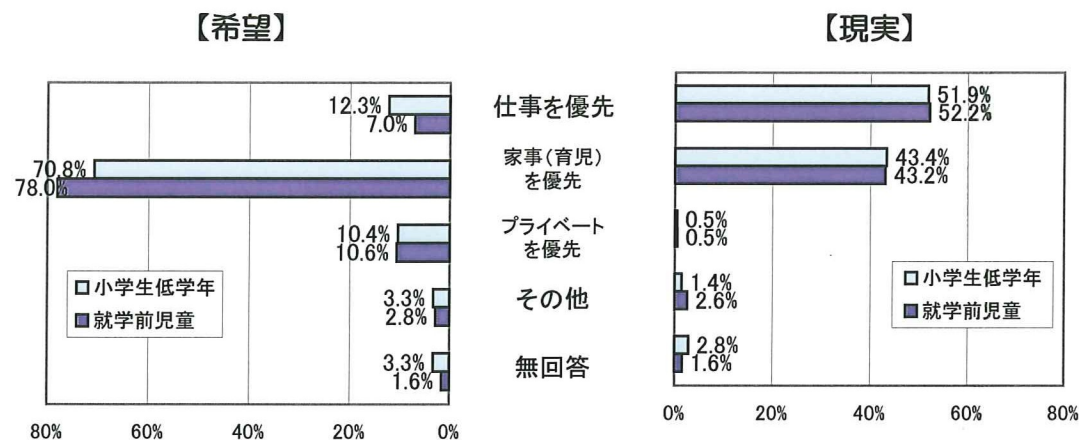
「子どもとの時間を十分にとれないこと」、「子どもを叱りすぎているような気がする」の割合は、就学前・小学校低学年とも高い。

就学前においては「病気や発育・発達に関すること」、小学校低学年においては「友達づきあいに関すること」についても高い割合を示している。

子育てに関する悩みや不安をどなたに（どこに）相談していますか。
（複数回答）



あなたの生活の中で、「仕事時間」と「家事（育児）・プライベート」の優先度は？



家事(育児)を優先したいという希望はあるが、現実には仕事を優先する割合が高くなっている。

子育て支援環境の充実のためには、どのような支援策が望ましいとお考えになりますか。（複数回答）

